特別会計

１　国民健康保険事業会計

当年度は、歳入決算額19,862,867千円に対し、歳出決算額19,369,362千円となっている。

歳入歳出差引額は、493,505千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ次頁のとおりである。

前年度と比較すると、歳入で174,796千円(△0.9％)、歳出で361,784千円(△1.8％)と

それぞれ減少している。

歳入の減少の主な要因は、前期高齢者交付金で192,713千円(3.3％)増加したものの、療養給付費等交付金で163,551千円(△21.7％)、国民健康保険税で124,689千円（△3.5％）とそれぞれ減少したことによるものである。

歳出の減少の主な要因は、基金積立金で198,851千円(皆増)増加したものの、公債費で231,481千円（△84.5％）、保険給付費で154,160千円（△1.3％）、後期高齢者支援金等で114,381千円（△5.2％）とそれぞれ減少したことによるものである。

国民健康保険税の収納状況は、前年度と比較すると収入済額で124,689千円(△3.5％)

減少し、収入未済額で49,667千円(△4.9％)減少している。

また、収納率は76.5％であり、前年度と比較すると、0.4ポイント上昇している。

不納欠損額は98,463千円で、前年度と比較すると9,115千円(△8.5％)減少している。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は1,500,000千円であるが、借入れはなかった。

　　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 （単位：千円・％）

(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



国民健康保険税収納状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　(単位：千円・％)

(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

国民健康保険税と保険給付費等の比較



保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・件)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　(単位：千円・％)



２　荻布奨学金事業会計

当年度は歳入決算額1,265千円に対し、歳出決算額1,169千円で、歳入歳出

差引額は、96千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている｡

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

歳入では、荻布奨学基金からの繰入金743千円は、前年度と比較すると17千円

(2.3％)増加している。

奨学金は、13人の高校生及び高専生に対し1,152千円支給されている。

歳入決算状況 　　 　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



奨学金支給状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



３　駐車場事業会計

当年度は歳入決算額599,207千円に対し、歳出決算額も同額となっている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

事業収入は246,303千円で、前年度と比較すると33,601千円(△12.0％)減少している。

これは、御旅屋駐車場で9,674千円、高岡中央駐車場で22,016千円、高岡駐車場で1,911千円事業収入がそれぞれ減少したことによるものである。

　地方債は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、予算の定めに従って行われていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



御旅屋駐車場利用状況

　(注)　（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡中央駐車場利用状況

　(注)　（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡駐車場利用状況

　(注)　（　）内数字は、合計台数の内数。

４　工業団地造成事業会計

当年度は、歳入決算額39,034千円に対し、歳出決算額も同額となっている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

前年度と比較すると、歳入歳出ともに176,866千円(△81.9％)減少している。これは主に、歳入では、財産収入で175,585千円（△93.0％）、歳出でも、公債費で152,752千円

(△86.2％)とそれぞれ減少したことによるものである。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



５　介護保険事業会計

当年度は歳入決算額16,983,413千円に対し、歳出決算額16,825,969千円で、歳入歳出差引額は、157,444千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている｡

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

歳入は、前年度と比較すると456,851千円(2.8％)増加している。

これは主に、支払基金交付金で156,640千円(3.6％)、国庫支出金で119,521千円（3.3％）、保険料で71,955千円(1.9％)とそれぞれ増加したことによるものである。

歳出は、前年度と比較すると463,571千円(2.8％)増加している。

これは主に、介護サービスを利用した際に支払われる保険給付費が、426,402千円(2.7％)増加したことによるものである。

また、介護給付費準備基金として90,904千円が積立てられている。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は300,000千円であるが、借入れはなかった。

　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)　「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



第１号被保険者の介護保険料収納状況　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)　「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・件)



６　後期高齢者医療事業会計

当年度は歳入決算額2,203,518千円に対し、歳出決算額2,200,908千円で、歳入歳出

差引額は、2,610千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている｡

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

前年度と比較すると、歳入で84,024千円（4.0％）、歳出で84,084千円（4.0％）とそれぞれ増加している。これは主に、歳入では、後期高齢者医療保険料で56,633千円（3.4％）、繰入金で28,707千円（6.3％）、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金で72,104千円（3.5％）とそれぞれ増加したことによるものである。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

（注）「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

